

平成26年 11 月6 日

日本看護技術学会第13回学術集会
キーセッション担当者 御中
シンポジウム担当者 御中
交流セッション担当者 御中
卒業研究交流セッション担当者 御中

日本看護技術学会編集委員会
委員長 深井 喜代子

日本看護技術学会誌（第14巻第1号）の原稿執筆依頼について

冷氣一段と強まり、いよいよ秋も深まってまいりました。皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。

さて、日本看護技術学会編集委員会では日本看護技術学会誌（第14巻第1号；平成27年4月発行予定）に、第13回学術集会でのご講演を掲載（再掲）し、学術集会に参加できなかった方々にもその講演内容を報告したいと考えております。お忙しいところ、大変恐縮ではありますが、下記の要領で原稿執筆をお願い申し上げます。

キーセッションおよびシンポジウムは各先生方に1編ずつ、それ以外のセッションは1セッションにつき1編ずつお願いいたします（交流セッションは下線部の先生に代表での執筆をご依頼）。お名前あるいはセッションの後にある（ ）内の数字が学会誌の刷り上りページになります。1ページあたり約2,000字を目安にお願いいたします〔(1)：約2,000字、(2)：約4,000字〕。また、図表は1枚につき400字（原稿用紙1枚）として計算してください。また、図表をカラーにする場合には実費を請求させていただきます。

なお、文面につきましては、新たに書き改めることはせず、予稿集と同じでよいお考えの方もおられると思いますので、その際は、上記の文字数（枚数）は無視し、「予稿集用に提出した原稿のまま」と、お知らせいただければ結構です。

■キーセッション

キーセッション1 「ヒーリングタッチの成果と普及」(2) (要・英文タイトル)

西田 直子先生 (1)
橋本 ルミ先生 (0.5)
柴田 カトリーナ先生 (0.5)

キーセッション2 「アロマセラピーの効果と普及」(2) (要・英文タイトル)

若村 智子先生 (1)
山本 加奈子先生 (0.5)
今西 二郎先生 (0.5)

キーセッション3 「リンパドレナージの成果と普及」(2) (要・英文タイトル)

小山 敦代先生 (0.5)
木村 恵美子先生 (0.5)
奥津 文子先生 (0.5)
星野 明子先生 (0.5)

キーセッション4 「ヘッドトリートメントの成果と普及」(2) (要・英文タイトル)

室田 昌子先生 (1)
宮崎 陽子先生 (0.5)

上馬場 和夫先生 (0.5)

キーセッション5 「音楽療法の成果と普及」(2) (要・英文タイトル)

上野 栄一先生 (0.5)
中村 道三先生 (0.5)
飯塚 三枝子先生 (0.5)
江口 寛先生 (0.5)
岡本 利子先生
小林 薫先生
蝦谷 昭久先生
前田 茂先生
トンガチャン先生

■シンポジウム

「“癒しのケア”の成果と普及」(3)

西田 直子先生 (1)
道重 文子先生 (0.5)
橋本 ルミ先生 (0.5)
小坂橋 喜久代先生 (0.5)
高島 尚子先生 (0.5)

■交流セッション

交流セッション1 「気持ちよさをもたらす看護ケア理論の開発に向けて」(2) (要・英文タイトル)

縄 秀志先生 (2)

交流セッション2 「ポジショニングで食べる喜びを伝える POTT (ぽっと) プログラムの汎用化」(2) (要・英文タイトル)

迫田 綾子先生 (2)

交流セッション3 「移動動作ガイドラインの必要性と展開例」(2) (要・英文タイトル)

西田 直子先生 (2)

交流セッション4 「論文投稿の A to Z (その3) —研究成果を公表することの義務と意義」(2) (要・英文タイトル)

深井 喜代子先生 (2)

交流セッション5 「オゾン水利用に関する普及戦略の検討～患者中心型デザインワークショップ手法を用いて～」(2) (要・英文タイトル)

西山 里利先生 (2)

交流セッション6 「口から食べることを支える摂食・嚥下ケアの基本—摂食・嚥下の5期モデルに応じたケア—」(2) (要・英文タイトル)

水戸 優子先生 (2)

交流セッション7 「セルフケア・セルフケア能力を高める看護支援における技の検討—日頃の看護実践事例や視覚教材を通して—」(2) (要・英文タイトル)

野月 千春先生 (2)

交流セッション8 「副交感神経活動リザーブを高める看護技術の確立—有疾患患者における検討—」(2) (要・英文タイトル)

金子 健太郎先生 (2)

交流セッション9 「マッサージによるリスクを最小化する試み」(2) (要・英文タイトル)

大野 夏代先生 (2)

交流セッション10 「ゴマ油による口腔ケアのエビデンスと臨床応用」(2) (要・英文タイトル)
岡田 忍先生 (2)

交流セッション11 「便秘症状の緩和のための温罨法 Q&A」(2) (要・英文タイトル)
吉良 いずみ先生 (2)

交流セッション12 「痛みのケアの確立を目指して(その10) 一疼痛ケア技術を社会と共同して
開発する(2)」(2) (要・英文タイトル)
深井 喜代子先生 (2)

交流セッション13 「看護教育と知的財産—教材開発を通して—」(2) (要・英文タイトル)
鷹居 樹八子先生 (2)

交流セッション14 「アイカメラが教えてくれること」(2) (要・英文タイトル)
大黒 理恵先生 (2)

■卒業研究交流セッション (研究活動推進委員会) (2)

田中 美智子先生 (2)

※このセッションは田中先生に一括執筆を依頼されてください。

執筆要項

- 1) 原稿は、Windows をご使用いただき **MS WORD で保存**し、電子メールで日本看護技術学会第13回学術集会事務局宛にお送りください。
※予稿集と同じ文面の場合はその旨、同宛先にメールでご返信ください。
(その際は、事務局におかれましては、予稿集原稿を印刷会社宛お送りください)
- 2) A4版の用紙1枚1,000字程度(1行の字数を35字、行数を28行で設定)で、図・表を含んで指定されました字数を目安に作成をお願い致します。
- 3) キーセッションと交流セッションでは、和文タイトルのほかに**英文タイトルの記述**もお願い致します。
- 4) お忙しいところ申し訳ございませんが、**原稿は平成26年12月26日(金)までに第13回学術集会事務局**(滝下幸栄先生宛) takisita@koto.kpu-m.ac.jpにお送りいただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

原稿送付先：京都府立医科大学医学部看護学科内
日本看護技術学会第13回学術集会事務局
企画運営委員会事務局担当 滝下 幸栄 先生
takisita@koto.kpu-m.ac.jp
〒602-0857 京都市上京区中御霊町410番地
京都府立医科大学医学部看護学科
E-mail：takisita@koto.kpu-m.ac.jp
TEL：075-212-5428

お問合せ先：日本看護技術学会編集委員会 深井 喜代子
〒700-8558 岡山市北区鹿田町2-5-1
岡山大学大学院保健学研究科
Phone & FAX：+81-86-235-6855
e-mail：scully@cc.okayama-u.ac.jp

なお、この文面と同じ内容は、以下のURLからダウンロードできます。

日本看護技術学会本部(東京) <http://www.jsnas.jp/>

日本看護技術学会第13回学術集会本部(京都) <http://www.c-linkage.co.jp/jsnas13/>